

# 神戸山手女子高で出前授業

## 「未来は私たちが決めるもの」

将来の社会の担い手と 行った。

なる高校生とともに、兵庫の未来を考えようという県ビジョン課は16日、神戸市中央区の神戸山手女子高校で、1〜3年約220人を対象に出前講座を

行った。同課の大町充弘さんが講師を務めた。県の抱える課題として、人口減少や少子高齢化による過疎化地域の集落消滅、進学や就職による若者の流出、郊外に建設された団地の老朽化などを挙げ、「地域にあった施策を

していかねばならない」と訴えた。また、テクノロジーの進化や、コロナ禍によるライフスタイルの変化に伴い、自宅など会社から離れた場所での仕事を行う「リモートワーク」などの事業を紹介。大町さん自身も行っており、通勤が減って家族と向き合う時間が増えたという。大町さんは「未来に正解はないし、わから

ない。ただ、未来は我々が決めるものだ」と、生徒たちに斬新なアイデアを求めた。

また、テクノロジー

講演後、生徒たちはグループに分かれ、理想的な県の将来像について話し合った。

県ビジョン課の大町さんが高校生に出前講座を行った

話し合った。

